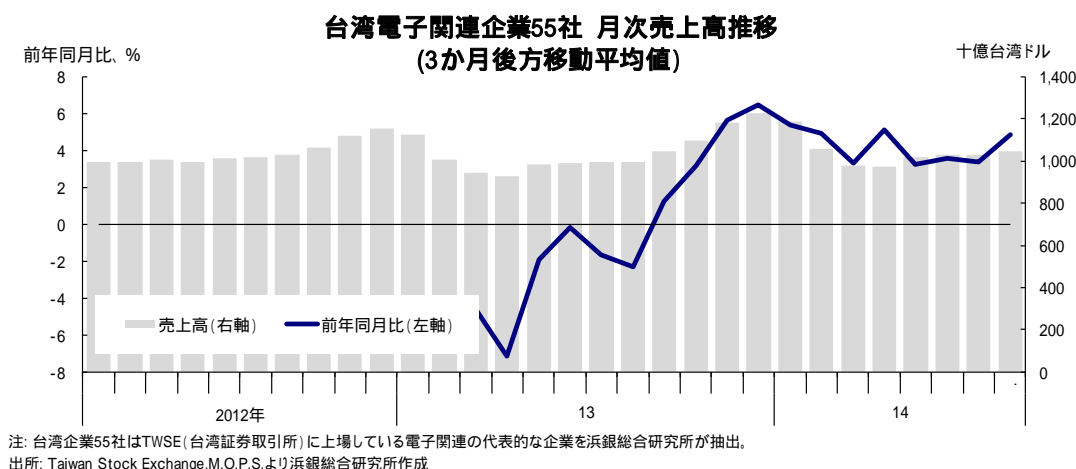


台湾電子関連企業 月次売上高 (2014年8月)
iPhone 6 の部品出荷が拡大するも、初回ロット数は限定的か

台湾電子関連企業 55 社の 8 月売上高は 3 か月後方移動平均値で前年同月比 4.9%増

- 台湾の主要電子関連企業 55 社（台湾証券取引所に上場している主要な電子関連企業を浜銀総合研究所が抽出）の 8 月の売上高は、前年同月比 4.7%増（前月比 2.6%増）、3 か月後方移動平均値で同 4.9%増（同 1.4%増）となった。台湾の電子関連企業は、世界の大手エレクトロニクスメーカー向けの出荷を多く手掛けており、その売上高の動向は世界のエレクトロニクス市場の先行指標となる。台湾企業の動向から、iPhone 6 向けの部品出荷が順調に拡大している様子が分かり、電子部品・デバイス市場のモメンタムは再び強まる兆しにある（図表 1）。
- しかし、組立てを行う EMS（Electronics Manufacturing Service、電子機器の受託製造）企業の売上高が前月に続いて伸び悩んでおり、iPhone 6 の初回ロット数が限定的となる懸念が浮上している。仮に初期の出荷計画が達成できない場合、部品各社に納期ずれや一時的な在庫調整を行う必要も出てくるため、今後の EMS の動向を注視する必要がある。

図表 1 iPhone 6 部品の出荷拡大を背景にモメンタムが強まる

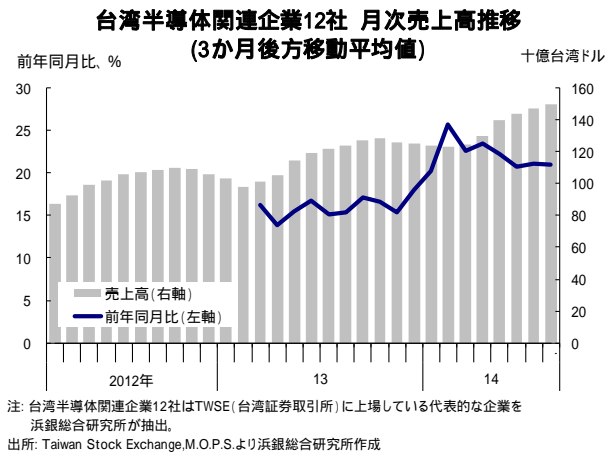


半導体関連企業が引き続き好調、電子部品、光学部品では iPhone 6 関連企業の売上が拡大

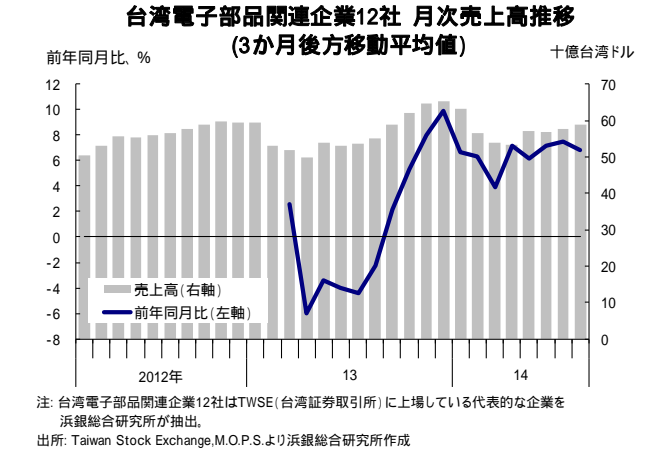
- 台湾電子関連企業 55 社を手掛ける品目ごとに分類すると、半導体関連企業の売上高が引き続き高い伸びを示しているほか、電子部品、光学部品企業では iPhone 6 向け部品を手掛ける企業の売上高が大きく伸びている。
- 半導体関連企業 12 社の 8 月の売上高は前年同月比 22.8%増（前月比 3.3%増）、3 か月後方移動平均では同 21.0%増（同 2.0%増）と引き続き高い伸びとなっている（図表 2）。iPhone 6 向けの受注を獲得した TSMC（前工程）や中国スマートフォンメーカー向けが好調な Media Tek（LSI 設計）などの売上高が大きく伸びており、半導体関連企業全体の売上拡大に寄与した。

- 電子部品関連企業、光学部品関連企業では、iPhone 6 向けの部品を手掛けている企業の売上高が大きく伸びている。金属筐体^{きょうたい}を製造する Catcher Technology の8月の売上高が前年同月比 55.1%増（前月比 7.8%増）、カメラレンズを供給する Largen Precision の売上高が同 64.7%増（同 12.8%増）となったほか、フレキシブル基板や LED 製品を手掛ける企業の売上高が伸びた。

図表2 半導体の売上高は前年比2割増



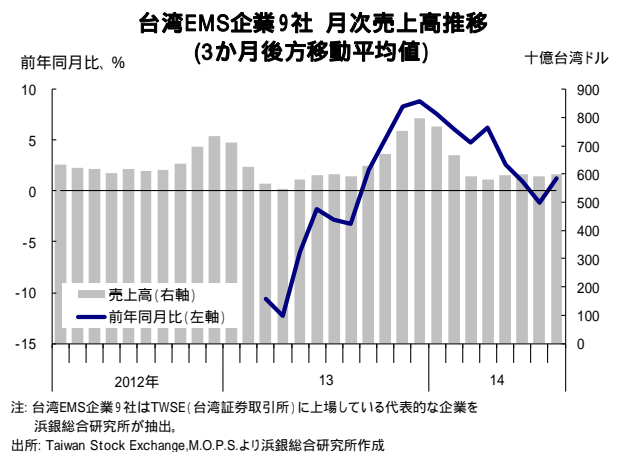
図表3 電子部品の出荷も引き続き堅調



EMS 企業の増勢が弱い点が懸念材料、iPhone 6 の初回出荷台数は限定的か

- 一方で、組み立てを行う EMS 企業の増勢が弱い。台湾 EMS 企業 9 社の 8 月の売上高は前年同月比 2.2%増（前月比 3.2%増）、3か月後方移動平均では同 1.2%増（同 1.2%増）とプラスとなったものの（図表4）、iPhone 6 の受注を獲得した 2 社（Hon Hai、Pegatron）の売上高は前年同月比でマイナスとなった。
- これら 2 社の低迷は、ノート PC の出荷が軟調であった影響があるものの、新型 iPhone の歩留まりなどに問題があり、出荷が予定通りに行われていない可能性もある。
- アップルは iPhone 6 と iPhone 6 Plus 初日の予約台数が過去最高の 400 万台となったと発表している。しかし EMS での組み立てが遅れ、当初の計画通りに出荷を行えない場合は、部品各社に納期ずれや一時的な在庫調整を行う必要が発生する可能性もある。今後の EMS の動向には注視が必要である。

図表4 EMS 企業の増勢は弱い



担当：調査部 産業調査室 山鹿 亜紀子
TEL 045-225-2375
E-mail: yamaga@yokohama-ri.co.jp

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。